

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003
東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075

FAX: 042-843-0076



谷口雅春先生の正しい「生長の家」のみ教えを学び日々生活に実践しよう!!

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

平常茶飯事に感謝をなさい

「日々は好日」とか「平常心は道」とか云う禅宗の語があります。何か特別に変わった良いことが来ないと思えないのはいけません。日々の平常茶飯事に、その恩を感じ感謝の心を起すように心を習慣づけることが大切です。空気、日光、水、簡単な食事、膝を入れるに足りる部屋、一枚の着物……数えて行けば私たちの身辺には、自分が造りもしないのに与えられている無数の恩恵に包まれていることを発見するのです。その無数の恩恵を出来るだけ思い出しては感謝しなさい。「感謝の念のうちにこそ、汝はわが姿を見、わが救いを受けるであろう」と神は教えていただけるのです。恐怖心と、不平不満の心とは生命の生きる力を殺すのです。明るい心と感謝の心とは生命の生きる力を喚び起すのです。心を明るくするようにつとめなさい。常に些細なことにも感謝するように努めなさい。(新装新版『真理』第10巻 実相篇)

真理を生きる「三正行」の実践を!!

生長の家では、真理を生活に生きるために大切な三正行(神観、聖典・聖經読誦、愛行)があります。本号ではその中から、聖經『甘露の法雨』を誦することの意義について取り上げました。

○聖經『甘露の法雨』誕生の由来

一立教当初、谷口雅春先生はインスピレーション(神啓)を受けた詩を当時の神誌に次々に発表されました。

「甘露の法雨」もその一つで、誌上に発表後、それを読んだ読者の病氣や人生上の苦悶が消える体験が続出。それで昭和10年、京都の小木虎次郎工学博士の考案により、それを経本型に製本して発行することとなりました。頒布されるや、又々功德を受ける人が現れ、多くの人々が人生苦から救われていきました。



このことを尊師は、『甘露の法雨』は「期せずして、『生命の實相』全巻の真理を縮約して歌ったものになっており、それを誦することによっていろいろの奇跡を演じたので、ついに聖經と称せられることになった」「現実界の人間が誦して悟りを開いて病苦悩苦しを去るばかりでなく、霊界の諸霊もその誦の声を聞いて悟りをひらき、迷える障りの霊も守護の霊となることが後に明らかとなったので、神仏礼拝の際その祭壇に対して誦すべき生長の家の聖經となったのである」(新編『生命の實相』第35巻)とお示しになりました。

○『甘露の法雨』について

大切な三つのこと

又、谷口雅春先生は『新講「甘露の法雨」解説』

の中で次のようにご教示下さっています。

1. この聖經の作者は觀世音菩薩であり、人類救済の真理が説かれている

「生長の家の本尊は、仏教では觀世音菩薩である」(『新講「甘露の法雨」解説』以下、同じく引用)

「觀世音菩薩が直接私をパイプとして語られた真理のことばであります」

「『甘露の法雨』は…觀世音菩薩が衆生の煩惱の焰を滅除せんがために、澍ぎ給うた大慈大悲の「法雨」即ち「真理の雨」なのであります」

2. 迷いの心を浄め幸福をもたらす

『甘露の法雨』の誦読

「一切の人生の不幸は人間の煩惱すなわち迷いによる悩みの結果あらわれて来る」「煩惱即ち「迷いの心」が消え去って、人間の心が浄まれば、自然に迷いの現れであるところのすべての悪い現象が消えてしまふ訳でありますから、『甘露の法雨』を誦することによって悪い現象が悉く消え去って、不幸がなくなり、病氣がなくなっても不思議はない訳なのであります」

3. 聖經は携帯するだけでも功德がある
「この宇宙にはいたるところに、觀世音菩薩の救いの靈波が充滿しているののであります、その觀世音菩薩の救いの靈波に、この聖經を受持し、携帯することによって、それが同波長であるが故に感應を生じて、そこに救い成就するということになるのであります」

以上、『甘露の法雨』の功德は偉大です。私達は常に携帯版『甘露の法雨』を護持し、聖經百巻、千巻誦に励みましょう!!



軍服の胸ポケットの『甘露の法雨』が銃弾を防ぐ(昭和14年)(『生長の火をかざして』より引用)

1 魂の向上のために与えられた体験を避けようと思うときのみ、それは不幸と感じられ、苦難と思われるのである。困難を越え撃つ態度にかかわるとき、それは悦んで上級学校の科目を教えられる喜びに変わるのである。(『生命の實相』頭注版第38巻 幸福篇)

何故、生長の家の先祖供養、 霊牌供養に功德があるのか

生長の家の霊牌供養で、癌が消えた！子どもが不登校がなくなった！事故から免れた！争っていた人間関係が調和した！…等多くの体験が生まれています。前号では「霊牌供養のはじまり」を記しましたが、今号は「霊牌供養がもたらす功德」について紹介します。

住吉大神が谷口雅春先生に天降り

説かれた御教え

谷口雅春先生は兵庫県住吉村に住んでおられたとき、毎朝5時に起床して近くの「勇湯」という銭湯で、体を浄められたあと近くの本住吉神社に参拝し、日本の隆昌と皇室の弥栄を祈念され、参拝後は自宅で静坐黙然の修行を続けられていました。この修行の中で神想観の坐法や呼吸の仕方などを導かれたとのことです。そしてある日、神啓天降り、「人類光明化のために機関誌『生長の家』を出せ」という神の声をきかれたのです。

生長の家の御教えは、住吉大神が谷口雅春先生に天降り、人類救済のために説かれた教えなのです。

聖経『甘露の法雨』は

住吉大神の生命の響き

こうして昭和5年に発行された機関誌『生長の家』が二年目を迎えたおり、(一面でもふれているように)谷口雅春先生に霊感的に浮かんで来た自由詩が『甘露の法雨』です。

谷口雅春先生は、その時のことを次のようにお書き下さっています。

「私は靈感のあつたその頃から妙に詩がポツカリと頭に思い浮かぶことが多くなつた。詩が妙に書きたくなつて、詩を書こうとして意識して机に倚つたとき、

夢中になつて霊感的にズンズン書いて往つたのもある。『甘露の法雨』や、『或る日の生命の国』などはそれである」。そしてこの詩の校正をされているときに、大神が神姿をあらわされたのです。

「はじめに『生長の家の神』が天空高く詩中の『生命の長老』に相応しいような白き衣を足まで垂れ、白髯胸まで至る姿にして神姿を現わし給うたのであつた。これでこの詩を誦することが生長の家の神を招ぶに相応しい精神的リズムを自己の心の内に作るものであると察せられる。爾来この同じき神姿は異なる場所、異なる人々によつて見られ、或る時には一座の数人が同時に同一神姿を見たような事実もあつて生長の家の神の存在が幻覚ではないことが第三者から立証された」。(新編『生命の真相』第33巻)

それからこの『甘露の法雨』を誦する人が次々に病氣から救われ、更には肉体死後の靈魂が救われる奇跡的な実例も続出し「聖経」とよばれるようになったのです。

つづいて谷口雅春先生は「仏教の現在のお経はお釈迦様のお説きになりました当時の印度の言葉では書いてないのであつて翻訳した漢文の棒読みでありますから釈尊の『生命の響き』『コトバのリズム』に触れることができないのであります。ところが、『甘露の法雨』は、

(住吉大神の化身である)観世音菩薩が直接私をパイプとして語られた言葉でありますから、それを読むことによつてそのまゝ、観音様の生命の雰囲気再生できるのでありますから、格段の相違があるのであります」(『新講「甘露の法雨」解釈』より要約)とお書き下さっています。

住吉大神より授けられた『甘露の法雨』は、そのまま大神の『生命の響き』に触れることになる。だから聖経『甘露の法雨』のいのちのリズムに包まれる霊

霊牌を出した途端に希望の家が

渡辺 愛(仮名)(36歳)

一戸建ての家が欲しいと、休日ごとに物件を見に行くも条件が合わず、生長の家を信仰している母に相談するたび「最もふさわしい家があるから大丈夫」と。

そんな時、条件にピッタリの中古物件が現れました。ただ価格が予定より高く、持ち主が売り急いでないので、下がることは難しいと言われました。「土地の問題はご先祖様にお願ひすると良い」と母が言っていたのを思い出し、相談すると「明日、地元で先祖供養祭があるから」と我が家のご先祖様と家の持ち主の霊牌を書いてくれました。母は「もし子供たちがこの家を購入することが幸せになるなら、与えてください」(〇〇さん、この家が与えられたら大切にに使わせていただきます)と祈りながら書いたそうです。

すると先祖供養祭の次の日、こちらの希望価格で売つてもよ

牌供養は祖先の魂のよろこびとなり救いとなつて多くの体験が生まれるのです。天高く風さわやかな秋のお彼岸には、是非、数多くの霊牌をお出し下さい。

秋のお彼岸

物故者顕彰霊 先祖供養祭

9月19日 午前11時から

谷口雅春先生報恩 全国練成道場に於て

※ 霊牌を郵送される方は18日必着でお送り下さい。

いと返事があり、住んでいたマンションも購入したよりも高い金額ですぐに売却が決まりました。

帰省のたびにお墓参りはしていましたが、これからは霊牌供養もさせていただきます。

階下に転落するもご先祖様にまもられて

岡村 裕子(40代)

今年の2月、考え事をしながら自宅の階段を降りていると、突然足を踏み外し、5〜6段目あたりから階下に転落し、頭を強打しました。一瞬何が起つたのかわからず痛みで頭に手をやると、手のひらにべったり血がついていました。

傷口がぱっくりと開いて頭蓋骨に達するほどの深い裂傷でしたが、幸いCT検査で異常が無かつたとの事。医師から「屋外の固いコンクリートの階段だと命が無かつたかもしれないよ」と言われ、ぞつとしました。

コロナ禍で以前よりも丁寧に自宅で命日供養や先祖供養を実行し、毎月、霊牌を出してご供養をするように心がけていました。ああ、御先祖様のご守護のおかげで助けて頂いた」と感謝の思いで一杯になりました。

人類の聖典『生命の實相』全巻を拝読しましょう!!

幻の名著『生命の實相』神道篇 復活の秘話

占領軍に発禁された『生命の實相』神道篇

本来、『生命の實相』第十六巻は『神道篇』でした。しかし戦後、『生命の實相』を復刊するにあたり、占領軍の圧力によって「古事記講義」が収録されていた『神道篇』は発禁となったのです。この十六巻収録の「古事記講義」は、昭和10年11月1日から20日までの十日間、東京・赤坂の生長の家本部道場にて開催された「第一回生長の家指導者講習会」における谷口雅春先生の講義で、谷口雅春先生の教えの核心を成すものであります。それで戦後の独立後、谷口雅春先生は改めて『古事記と現代の預言』を発売され、『古事記』に示された天皇国日本の実相を説き続けられました。ところが、こうした尊師のお心を三代目の総裁谷口雅宣氏は排斥して、『古事記と現代の預言』を始めとする貴重な聖典を次々に事実上の絶版にしていきました。そこで、尊師の願いを正しく受けつぐ当事業団は光明思想社と協力し、『生命の實相』神道篇を復活、平成20年、『古事記と日本国の世界的使命』の発刊に踏み切ったのです。

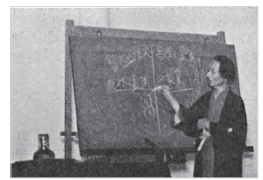
著作権を護るたかいた、

判決に示された尊師の真意

これに対し、現教団と日本教文社は平成21年、当事業団が著作権を有している『生命の實相』及び同神道篇（『古事記と日本国の世界的使命』等の発行差止めを要求して訴訟を起こす暴挙に出たのです。このたかいたは約5年にわたりました。平成25年、最高裁において当方の勝訴が確定しました。

特に裁判所の判決書において、その重要な根拠として、『秘められたる神示』の中の『生命の實相』の第十六巻に収録されてあつた『古事記』の講義なども発禁の運命を甘受しなければならなかつた。私は、日本國家の前途を思ひ、日本民族に課せられたる運命を思ひ、泣くに泣けない悲しみの中に、眠られぬ幾夜を過ごしてゐた（後略）」との御文章が引用・掲載され、谷口雅春先生のお考えが戦前、戦後一貫して変わっていないことが公的に明らかにされたことは、私達の深い感銘でありました。

この裁判を支えるため、特別献資等によりご支援いただいた全国の皆様には、改めて心から感謝申し上げます。



『古事記』を講義される谷口雅春先生（『生長の家五十年史』より引用）



古事記と日本国の世界的使命 一巻『生命の實相』神道篇一

ご恩返しの人生活歩ませてください

石川県 中村 利光（70歳）

中学二年生の時、膝が痛くて夜も眠れないようになり、病院でリウマチと診断されました。膝の水を抜いて薬を注射すると嘘のように痛みが消えましたが、治療費は5千円。高卒の初任給が1万5千円くらいの時代に度々行くことも出来ません。

ある日、親戚から貰った『光の泉』誌を何気なく手に取って表紙をめくりました。その内容は皆さんは時計が故障したら何処へ持っていくでしょうか？それは時計を作った人の所です。人間を作った人とは誰でしょうか？それは神様です。このご文章にふれて生長の家に惹かれ、月刊誌や『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を読むようになり、リウマチは十年程でほとんど治りました。

このように私は、問題があるたびに『生命の實相』を読み、神想観を繰り返すような生活でした。『生命の實相』は全巻通して三回半、好きな箇所は繰り返し読みました。が教義の整理がつかず、問題が起きた時、何をどうして良いのか分からないのです。

ある時、藤原敏之先生の講話の後で演壇に立たれた谷口清超先生が、「あまりに素晴らしいので何もいう事はありません」と言われたと聞いて、藤原先生の本を繰り返し真剣に読むようになりました。

その結果、現象無し、全て神のつくられた世界である（唯神実相・唯心所現）。そして全ての正しい宗教は元は一つであって同じ真理を説いている（万教帰一）。このように真理の整理ができてきたのです。それから『生命の實相』を読んでみますと、谷口雅春先生がお説きくださった真理が分かるようになり、多くのおかげをいただきました。

『生命の實相』と私（第5回）

これからは、微力ながら石川の地に一つでも多くの真理の拠点ができるよう努め、ご恩返しの人生活を歩ませさせていただきます。

『生命の實相』を覚えてくれた主人に感謝

岡山県 福田 直美（63歳）

40年前に主人と結婚し『生命の實相』に出会いました。感銘を受けたところをノートに書き出したり、「万教帰一篇」など好きな巻を何度も読み返したりしていました。

約8年前、主人が59歳で亡くなり支えを無くした私にとって、心の支えは『生命の實相』でした。拝読していく中、「教育実践篇」の「神様にお任せなさい。大生命のおはからいに、すっかり委ねておしまいなさい。あなたが思い煩いを捨てて神様にすべてをお任せしてしまつた時、そこにあなたにとってもっとも良い環境が開けて来るのです」という言葉がすつと心身に入ってきて、聖經『続々甘露の法雨』の「汝の全存在を神にまで委せざるべし」を素直に実践できる気がしました。それ以来、神様と霊界の主人に常に護られ導かれ、何も恐れることなく幸せな日々を過ごさせてもらっています。

古い家の壁が傾きリフォームさせるを得なくなつた時も、「僕に任せろ」と言つてくれた知人に任せて大工事が無事に出来ました。発達障害の次男の就職も、友人に頼んだらすぐ好条件の職場にご縁をいただきました。40年程前に山の上の霊園にお墓を移していましたが、道が悪く車で行くのが大変でした。2年前、長男がお墓参りの帰りに脱輪したことをきっかけに街なかのお寺の中の、元々お墓があつた所に、ご住職のご厚意や良心的な石屋さんのおかげで移転することが出来ました。主人と結婚して良かったと思うことは沢山ありますが、一番は『生命の實相』を読むことを教えてくれたことだと感謝しています。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

五つの事業を支える奉讀者539名御芳名
 これまで献買下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り伝えるために!!

1口33万円の特別献資にご協力ください!! (分割可)

- <当事業団が行っている五つの創立記念事業>
- ①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
 - ②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
 - ③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
 - ④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
 - ⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大
- これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から76年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)

神様の祝福に満ちた幸福人生を招く

◎聖使命奉讀会にご入会ください!

▲奉讀会費▼月額一口、千円

聖使命奉讀会は、谷口雅春先生の正しい教えを護り神様の祝福をうけるために誕生しました。入会された方が幸福になれるのは、神様の人類光明化運動に献資することにより神様と直接太いパイプでつながるからです。尚、入会された方の「誠魂」は谷口雅春先生報恩全国練成道場の宝篋に奉安され、聖經読誦により毎日祝福されます。ご入会いただける方は当法人までご連絡ください。

◎神癒・聖經供養祈願にお申し込みを

— 問題解決、喜びの体験続々 —

待望の内孫を授かる!! 私には三人の子がおります。長女は三人の子を授かりましたが、子供好きの長男夫婦はなかなか授かりませんでした。私にできることは祈願をお願いして祈ることしかないと思い、神癒祈願をお願いしました。その後息子夫婦は人工授精を試み、今回が最後と言われた四回目に妊娠が確認され、無事うまれてきてくれました。(70代・女性)



お一人お一人の神癒の成就を願い、丁寧に真心の聖經供養をさせていただきます。

「聖經百巻読誦」八万巻超える!!

金剛不壊身健康成就・コロナウイルス終息消滅のための百巻読誦表奉納者「よろこびの声」

聖經「続真理の吟唱」読誦千回目を達成できました。(『甘露の法雨』も別で日々読んでいます)初めは個人的な祈りが、家族、社会へと心が向かい、大変有難い心境で日々過すことが出来ています。(70代・女性)

9月の行事日程				10月の行事日程			
日程	行事	時間	場所	日程	行事	時間	場所
1(水)	月始め感謝祭 聖使命奉讀会感謝奉納祭	10時半~	道場	1(金)	月始め感謝祭 聖使命奉讀会感謝奉納祭	10時半~	道場
2(木)	実相金剛身の神示祭	11時~	社殿	17(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場
5(日)	生死の教の神示祭	11時~	社殿	22(金)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館
15(水)	靈魂進化の神示祭	11時~	社殿				
19(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場				
22(水)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館				
27(月)	大調和の神示祭	11時~	社殿				
28(火)	最後の審判、に就いての神示祭	11時~	社殿				

◆「神癒・聖經供養」毎朝9時~10時30分
谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。自由にご参加ください。

◆「全国練成道場講師陣」による個人指導
お悩みや心配事がある方は、気軽にお申し込みください。(遠方や急ぐ方は電話でも)

◆図書資料館定期一般開館日のお知らせ
9月2日・16日、10月7日・21日
午前11時~午後3時(原則第1・3木曜日)

◆『生命の實相』輪読会(毎月22日図書資料館)
9月・10月は新編第13巻(頭注版第7巻)の生活篇です。